

会社説明会



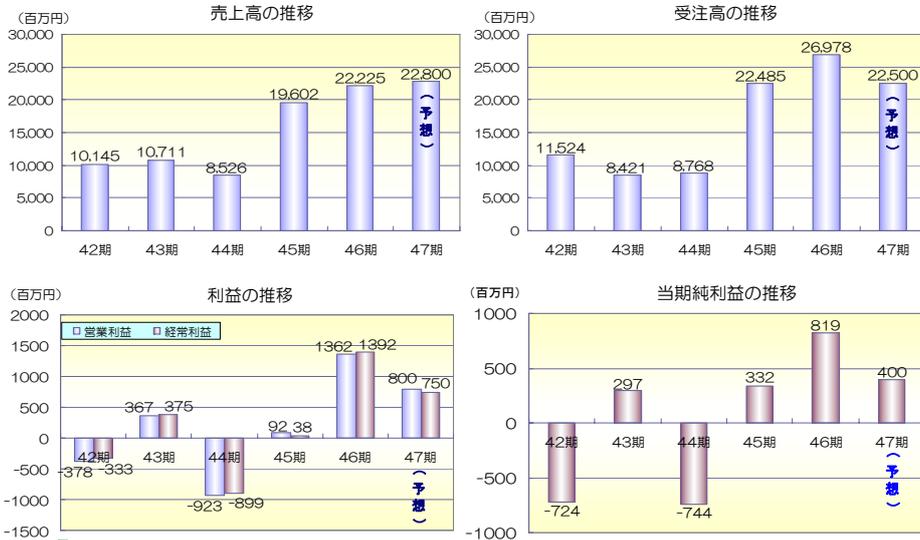
株式会社 長大

2013年12月5日

最近の営業成果

～2013年9月期（長大46期）～

◆業績及び今後の見通し（連結）



◆46期損益状況（連結）

- 受注高 : 269.8億円 (前期比120.0%)
- 売上高 : 226.6億円 (前期比113.5%)
- 営業利益 : 13.6億円

<長大グループの取り組み>

- 国内の基幹事業におけるプロポ・総合評価の競争力を高める活動の継続
- 国内外における新エネルギー・環境分野への進出
- 東南アジア市場に対する戦略的な事業開拓の推進
- グループシナジーの発現

◆46期損益状況（個別）

- 受注高 : 146.3億円 (前期比131.9%)
- 売上高 : 115.2億円 (前期比127.6%)
- 営業利益 : 5.3億円

◆ 45期下期および46期上期の国内受注の好調に加え、海外受注が劇的に増加

＜受注量増加の要因＞

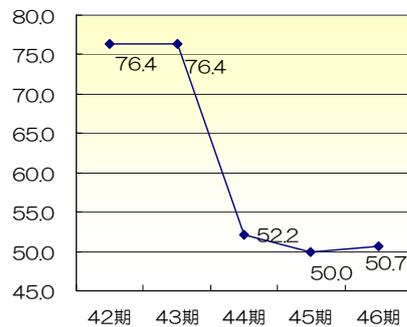
- 海外業務への仕込が萌芽
- 販売、技術、理事の協力によりプロポ・総合評価の特定率が向上

◆財務状況（連結）

(百万円) 総資産・純資産の推移



(%) 自己資本比率の推移



今後の経営計画

◆新たな中期経営計画

「長大持続成長プラン2013」

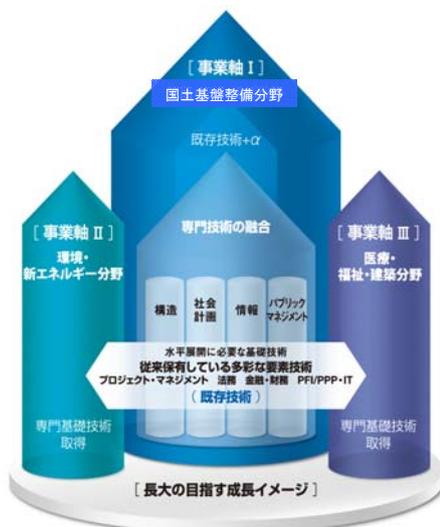
長大グループ経営のベクトルと目標を
経営者と社員が共有する

◆経営環境の見通し

- 現政権の安定運営の可能性大
- 国内では国土強靱化、全国防災・減災、インフラの維持管理への投資が一定レベルで継続
- 海外では途上国のインフラ需要が続き、既存分野とともに新領域の事業が活発化

→ 事業推進戦略を着実に進め、グループとして持続可能な成長を果たす

◆事業推進戦略に基づく事業展開



事業軸Ⅰ：国土基盤整備

既存土木分野を軸とし、長大専門技術を融合させ、市場の変化に対応して成長を目指す。

事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー

市場の今後の成長分野、環境・新エネルギー分野での市場の拡大を目指す。

事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

市場の今後の成長分野、医療・福祉・建築分野での市場の拡大を目指す。

◆新たな中期経営計画のビジョン

- ① グループ総合技術で信頼される企業
- ② 持続的成長を維持する安定経営企業
- ③ 多様な能力と経験の人材が活躍する企業
- ④ 事業執行の改革を進める企業

◆グループ経営施策の重点

(1) 基幹事業の競争力向上と市場拡大

- ◆基幹分野のシェア拡大
 - ・構造事業 業界受注No.1の奪還 等
- ◆新たな分野の市場拡大
 - ・建築、港湾・河川防災、小水力、エコプロ
- ◆CK事業シナジーの拡大（グループ効果）
 - ・No.1技術の補完、営業連携、市場開拓

◆グループ経営施策の重点

(2) 事業の多様性と総合化が進む市場の拡大

- ◆再生可能エネルギー分野
 - ・小水力発電、地熱発電 等
- ◆エコプロダクツ事業
 - ・多様な事業方式の展開
- ◆建築・PPP/PFI分野
 - ・学校施設から街づくりへ、民間プレーヤ
- ◆道路運営
 - ・IDWにおける道路監理と道路運営

◆グループ経営施策の重点

(3) 震災復興と全国防災・減災への貢献

- ◆グループの技術を総合して対応
- ◆新たな事業手法への挑戦（PPP、CM等）

(4) 経営・管理の効率化

- ◆財務・会計、人事・労務、管理システムの一層の効率化

◆グループ経営施策の重点

(5) 人材と福利厚生の充実

◆人材確保

→リクルート活動の権限と責任を現場に
人材の質による柔軟な雇用条件に
高齢者雇用延長制度の運用を工夫

◆人材定着

→安定した業績の実現による待遇向上
職場環境改善と福利厚生の充実

◆数値目標

49期の目標

長大 営業利益 5億円 → 賞与 5カ月

基礎地盤 営業利益 4億円 → 賞与 4カ月

◆47期運営基本方針

「受注」「品質」「事業開拓」そして「社員の活力」

—技術で社会に貢献し続ける強靱で魅力的な企業集団へ—

- 47期は中期経営計画の初年度
- 前中期経営計画の方針を継続
～ コンサルタント そして サービスプロバイダへ ～
- 現在は業績好調、事業環境も追い風も、いずれ止まる時期が来る！



長大グループが**持続的に成長**できる
企業体質を確立

◆グループ運営の取組み姿勢 (1/2)

■ 国土強靱化対応

- 震災復興にグループをあげて取り組む
- 老朽化対策、防災・減災ニーズに**グループが連携**して対応

■ CKシナジーの追及

- 2年間の活動 期待ほどの進展がみられず
- 長大の各事業本部が**強いイニシアチブ**
- 連携による新たな**事業開拓**、**市場開拓**を目指す

■ 新事業方式への先陣的取組み

- **新しい事業方式の広がり**(事業促進PPP、CM、PFI/PPP等)
- 長大グループだけの経験・ノウハウだけでは対応困難
- **異分野・異業種連携**を積極的に仕掛け、先陣的に新事業に取り組む

◆グループ運営の取組み姿勢 (2/2)

■新領域事業から基幹事業への成長

- **エコプロダクツ事業**は、基幹事業の一部門として業績に貢献
- **エネルギー事業**はグループ基幹事業に向け推進(小水力発電、地熱発電)

■海外営業戦略の構築

- **長大・NKGの連携**の動きを着実に進展(技術補完、シンガポール・ベトナムの拠点化、フィリピン進出)
- **長大コリア**の現地技術者の活用の推進
- **他部門**が進めている海外事業との連携(小水力発電、工業団地開発など)

◆47期の経営課題と対応方針 (1/3)

■「受注」…着実な受注拡大が持続成長のベース

- **基幹事業**は競争力の向上が最重要課題
 - 受注特性の違いを踏まえトータル受注を伸ばす販売活動
 - 販売と技術の連携
- **海外事業**は消化体制が積極的受注のボトルネック
 - **人材の外部補強**と既受注案件の進行を勘案して新規受注
 - **新領域事業**は海外市場拡大の重要な時期。事業性を確認しながら積極的に事業開拓
- **新領域事業**の拡大
 - エコプロダクツ事業、小水力発電事業、エコ・サニテーション事業
- **CKシナジー**
 - 長大の強いイニシアチブ
 - 技術交流に加え市場交流も

◆47期の経営課題と対応方針 (2/3)

■「品質」…業務量が多い今期こそ品質に一層の注力を

- 個々の業務の品質確保・向上に一層留意が必要
- 顧客への積極的働きかけにより品質向上と高評価へ(攻撃が最大の防御)

■「事業開拓」…将来のために時代の要請を先取りする 事業開拓に取り組む

- 官主体の従来型事業は中長期的にはその規模は縮小
- 安定した業績が見込めるこの時期こそ、時代の要請を先取りし、3つの事業軸に沿った事業開拓に取り組む

◆47期の経営課題と対応方針 (3/3)

■「社員の活力」…社員の活力を生み出す職場環境に

- 若手・中堅社員の離職・転職は業界全般の傾向
- 長年の持続的な成長のためには社員の活力が不可欠
- 活力ある社員を生み出す職場環境への改善
 - ・若手の優秀な人材確保と教育
 - ・利益体質の確立と待遇改善
 - ・社員に応じたワーク・ライフ・バランスへの配慮
 - ・福利厚生の充実
 - ・相互信頼醸成のための交流機会の充実 等

◆開かれた企業グループの確立

46期 シナジー発現、新事業の展開
みちは「開きつつある」



47期

- 更なるグループシナジーの進化、事業の安定化、将来に向かって「強固に開いていく」
- 近い将来の逆風に備えて、必要な投資をして「安定成長へのドアを開いていく」
- 企業間、社員間の情報共有、人事交流、技術交流、社会への情報発信、CSRを進め「開かれた企業グループ」へ



47期シンボル文字

「開」

23

第46期 決算報告

お手元の決算短信をご覧ください



24

事業トピックス

◆事業推進戦略に基づく事業展開



事業軸Ⅰ: 国土基盤整備

既存土木分野を軸とし、長大専門技術を融合させ、市場の変化に対応して成長を目指す。

事業軸Ⅱ: 環境・新エネルギー

市場の今後の成長分野、環境・新エネルギー分野での市場の拡大を目指す。

事業軸Ⅲ: 医療・福祉・建築

市場の今後の成長分野、医療・福祉・建築分野での市場の拡大を目指す。

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

トルコ国 長大橋梁施工監理業務2件受注 当社の長大橋梁技術が世界的に評価



第3ボスポラス橋の完成イメージ

- イズミット湾横断橋、第3ボスポラス橋の施行監理業務を立て続けに受注
- 明石海峡大橋をはじめとする当社の吊橋設計・施工監理技術が世界的に評価
- 当社の実績と高い技術力を最先端の事業において示す



27

事業軸Ⅰ：国土基盤整備

土木構造設計と建築設計の連携 広島駅前ペDESTリアンデッキ詳細設計



- 整備コンセプトは「活力とにぎわいの創出」「陸の玄関にふさわしい施設」「二葉山の緑豊かな景観との調和」
- 広島駅前にふさわしいデッキの構築を目指す



事業軸 I : 国土基盤整備

我が国有数の軟弱地盤地帯における 支間150mの大規模橋梁詳細設計



早津江川橋 完成イメージパース

- 有明海沿岸道路「早津江川橋梁」の詳細設計
- 地盤、耐震、耐風等の面で高度な技術的配慮が必要
- 周辺景観との調和も求められ、「構造」と「景観」の両面から検討



事業軸 I : 国土基盤整備

国土強靱化への対応



写真①橋梁点検



写真②トンネル点検



写真③のり面点検



写真④横断歩道橋点検



写真⑤附属物点検



写真⑥舗装点検(FWD)

- 各種道路施設の点検
- メンテナンスに関する情報を管理するデータベースシステム開発
- 社内に「維持管理事業検討委員会」を設立し、技術や組織及び市場開拓の深化・拡大を検討



事業軸 I : 国土基盤整備

日常の道路巡回業務や災害時の情報収集を行う『iパトNOTE』を開発



- スマートフォンを利用して「迅速」「正確」に現地の情報を収集・一元管理
- 関係者による情報共有や報告書の作成を強力に支援



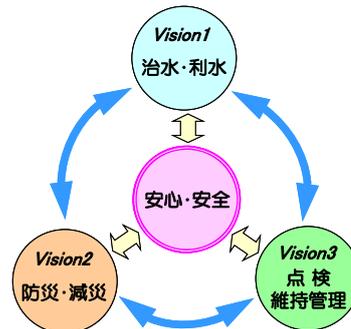
31

事業軸 I : 国土基盤整備

国土強靱化施策に貢献する
港湾・河川防災部門を新たに設置



港湾・河川防災部の業務範囲



安全・安心のための3つの軸

- 港湾・河川の護岸設計業務をはじめ、海岸堤防・水門等河川構造物の耐震設計、維持管理業務の受注拡大を目指す



事業軸Ⅰ：道路・交通・地域

道路管理データベース運用業務で培った経験と技術を
 基于、発注者支援業務を受注(長大テック)



- 「道路許認可・審査業務」を初受注
- 今後、業種の拡大、更なる受注の拡大を目指す

事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー

小水力発電事業 比国での事業を着実に推進
 他国への事業展開も



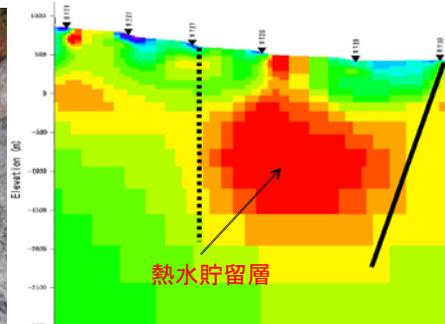
- 比国ミンダナオ島「アシガ川小水力発電事業」、平成24年12月に起工式
- 同島における「ワウ川小水力発電事業」、本年7月に現地企業と長大グループは共同で開発を行うことで合意
- インドネシアを次のターゲットに営業活動を推進

事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー

地熱発電開発事業の推進(基礎地盤C)



岩木山湯の沢硫黄谷における熱水変質帯



岩木山における電磁探査による熱源調査

- 青森県弘前市岩木山麓において地熱可能性調査を受注
- 国内を中心に複数ヶ所の有望地において、FS調査事業を展開中



事業軸Ⅱ：環境・新エネルギー

ベトナム国における バイオトイレの普及展開を推進



バイオトイレを搭載したベトナム国鉄車両の運行開始セレモニー



「ハロン市の新都市地区とハロン湾」

- 本年2月にベトナム国鉄車両にバイオトイレを搭載し、実証試験を実施
本格導入に向けた活動を推進
- 外務省の補助事業に採択され、ハロン湾の水質環境改善を目的にバイオトイレと新浄化システムの導入可能性調査を開始



事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

建築と連携し

公有地の有効活用（PRE）業務の受注拡大

メディカルフィットネス施設

◆子供から高齢者まであらゆる世代が「歩く文化」を醸成し、「外出のきっかけ」となる健康づくりのための施設。地域の人々が活躍するウォーキングアールやスエド施設、ジム・スタジオ等一連の施設。



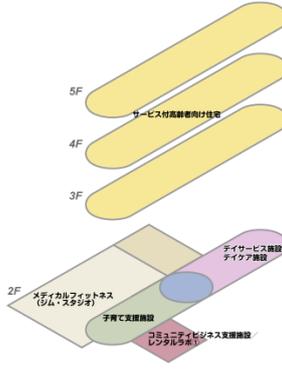
子育て支援施設

◆乳幼児期から学童までの層を対象とし、「子育て」を高齢者を含む全世代の地域の人々が様々な形で支援する施設。保護者の相談・交流のニーズにも対応。



コミュニティビジネス支援施設 レンタルラボ

◆高齢者の生きがいを生み、就労の場を創出するコミュニティビジネスのための支援施設。（配食サービス/木工等の貸工場など）
◆新築立直病院と配食企業が共同で、地域住民のバイタルデータ等を収集し、健康長寿に関する臨床研究を実施。



サービス付高齢者向け住宅

◆高齢者の居住の安定化・住み替え支援を図るための住居。
1・2階の医食・介護機能と連携し、安否確認や生活相談サービスを提供。



デイケア、デイサービス施設

◆診療所と連携したデイケア（＝リハビリテーション中心）、デイサービス施設。



診療所・訪問看護

◆地域の在宅医療・在宅療養を支援する診療所。
◆24時間対応可能な地域医療体制の「核」となる施設。



- 地方公共団体所有の公共施設跡地や未利用地などを活用した事業の基本構想・基本計画策定、民間活力導入可能性調査、事業者選定支援など
45期：受注25件 1.5億円 46期：受注32件 1.7億円

事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

保育園から大学まで

子育て・教育・研究建物の設計受注増加



胎内市立こども園新築設計(新潟県)



九州大学国際村Ⅱ新築設計(福岡県)

- 教育施設の設計業務の受注を確実に伸ばす
45期：受注22件 1.9億円 46期(今期)：受注19件 2.6億円

事業軸Ⅲ：医療・福祉・建築

オンデマンド型バス運行支援システムで高齢者移動を支援 導入自治体を着実に拡大(順風路)



- 順風路を中心とした長大グループの事業軸Ⅲの中心事業の一つ
- 9月末現在 28箇所の自治体に導入(前期比11箇所増)



39

事業軸水平展開

PF1事業へサービスプロバイダとなる 民間事業者として本格参入



- ハイウェイテラス・京丹波整備事業において、地元企業を中心としたコンソーシアムにアドバイザーとして参画
- 今後は事業を実施するSPCへの出資を含め、長期に及ぶ事業全体のマネジメントを実施



ご清聴ありがとうございました

